

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.120

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: info@chiba.life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替：00110 - 8 - 579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会 (PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「困難の時代に生きる者として」

日本福音学校千葉校教育主事・単立稲毛聖書教会牧師 小村 公人

現在、私たちは困難な時代に生きています。千年に一度という大震災と大津波によって多くの都市が一瞬にして姿を消し、2万人以上の死者・行方不明者を出しました。その上、さらにもっと広範囲に被害をもたらす原発事故が起きてしまいました。すでに広島原爆の20~30個分の放射性物質が放出し、各地に深刻な影響を及ぼしています。そしてこの事故は、収束までにまだ何十年もの歳月を要するのです。

今回の大震災は、自然が決して人間の自由にならないこと、つまり人間はこの世界の支配者でないことを見せつけました。さらにいかに人間の築き上げたものが、はかなくもろいものであるかを明らかにしました。また人間に絶対がないことを原発事故は示したのでした。

今秋の10月4日~11月15日まで、日本福音学校千葉校の信徒研修講座が、「今日に生きるキリスト者」一世に流されないキリスト者を目指して一の主題の下で開かれます。このような危機的困難な時代だからこそ、私たちキリスト者は、目先の出来事に右往左往することなく、しっかりと御言葉に支えられる必要があります。その意味で、今回の学びはタイムリーと言えます。一人でも多くの受講を期待しています。

被災地の復旧は、時間と共に一步一步進んでいくことでしょう。しかし肉親を失い、家を失った人たちの心の痛手はそう簡単に癒えるものではありません。私たちキリスト者は、被災者と原発事故の被害に合われた人たちに本当の癒しと救いが与えられるように、とりなしの祈りを続ける務めが委ねられています。

原発事故は天災とは質的に違います。原子力利用は、経済優先のために、どんなリスクを冒しても利用するという姿であり、まことの神を神としない、マモン(不正な富)の神に仕える姿、人の命や自然よりも富を優先するものです。私たちキリスト者は「あなたがたは、神と富とに仕えることができない。」(マタイ6章24節)という御言葉をしっかりと心に留め、富の誘惑から自由になり、経済至上主義に対して否を表明しなければなりません。

大震災と原発事故により、今まさに人も自然も苦しんでいます。しかし私たちには、主イエスキリストのゆえに希望が与えられています。「つまり、被造物も、いつか滅びのへの隷属から解放されて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかるからです。」(ローマ8章21節)。私たちは今こそ、希望を語り伝えなければなりません。そのためにも、働きの一翼を担っている「ライフ・ライン」を支え、PRし、活用しようではありませんか。